

## 1学年「総合的な探究の時間」について

### 1. 目標

#### 一年次:自己を理解し可能性を探索する時期

- 国際教養を身に付け、他者理解やコミュニケーション能力を育む。
- 自己のあり方生き方を深く考え、自己の能力・適性を理解する。
- 社会の一員としての自覚を持つ。

### 2. 「総合的な探究の時間」の学習テーマと教材

#### (1)1学期(2学期以降適宜) … 進路学習 (教材:『進路ノート』)

1学期は「進路学習」を中心に進めます。自分にはどのような能力があり、どのような職業に向いているのか、そして自分の希望を実現するために高校3年間を通してどのように準備していけばよいのかを考えながら学習を進めます。また、社会人として必要な「話す力」や「書く力」を身に付けます。

#### (2)2・3学期 … 国際理解教育(教材:自主作成教材)

2・3学期は「国際理解教育」を中心に進めます。海外からの留学生との交流会や小学校訪問を通して、他者・異文化との相違を理解・受容していくことの必要性を学び、自己の生き方について考えます。また、国際理解に向けての課題を把握し、具体的な対応方法を考察することで、問題解決能力を育成します。

### 3. 成績評価・出欠席について

授業として行いますので、評価を行います。学習態度、学習意欲、提出物の状況等を中心に評価を行います。欠席数や学習態度に問題がある場合は、単位を修得することはできません。

これは探究に限った話ではないですが、授業を休まないように意識してください。繰り返しになりますが、欠席数が多いと単位を修得できません。また、3年次の進路活動においても非常に不利になります。例年、欠席が多くて単位を修得できなかったり、自分が目指す進路を断念したりする人がいます。3年次に後悔しても、1、2年次の成績や欠席は覆すことはできません。

保土ヶ谷高校では3年間で合計30日以上欠席があると就職も進学も推薦してもらえません。また、進学については出席すべき日数の3分の1以上遅刻すると推薦はしてもらえません。欠席・遅刻を少なくするように健康管理を意識してください。

### 4. 担当者

クラス	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	1-8	1-9
担当	刑部	高橋	坂本	下司	小澤	片原	田宮	伊藤	内野
	金子	諸見里	早川	石井	小宮山	則本	幸	大畑	松平

## 5. 最後に

探究に取り組む上で大切にしていきたいことは、①身だしなみ、②言葉遣い、③挨拶です。この3つは社会人になるために、必要不可欠といえます。

①身だしなみについて、保土ヶ谷高校では服装についてルールが決められていますが、そのルールをきちんと守ってください。②言葉遣いについては、3年次に慌てて練習する人がいますが、それでは全く対応できません。1年次から先生や外部の方に丁寧な受け答えをするように意識しましょう。

また③挨拶がきちんとできるように心がけてください。学校には先生以外にも多くの外部が来校します。そのような方々にも挨拶をするようにしてください。

挨拶は“自分から”、“笑顔で”、“はっきりと”行うようにしましょう。